

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和5年5月24日

提出区分	実績	整理番号	10	課題区分	C		
横断的な課題	リニア及び三遠南信自動車道の開通を見据えた地域づくりの推進						
地域重点政策	地域資源を活かした地域振興					南信州地域振興局	
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	林務課	
事業名	「竹取再生」促進事業				電話	8-237-2437	
					E-mail	minamichi-rimmu@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	放置竹林に対する地域住民等の自主的な竹林整備及び竹資源の利活用の取組を促すことで、リニア新時代に向けた景観形成や竹を資材とした新たな用途開発を目指す。					
	現状と課題	管内の竹林面積は616haと全県の42%を占めているが、近年、手入れを放棄され荒廃化が進み、農地や住宅地への侵入、不法投棄の温床、野生獣の住みかとなるなど地域の課題となっている。これまで、地域団体等による整備やメンマへの加工など、伐採した竹の資源活用の取組みも行われているが活用例はまだ少ない状況となっている。 そこで、竹資源の有効活用を探るための検討を行っていく必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	竹を地域で土木用材資源として活用できないか検討する。 ○内容 (1)高温乾燥処理:根羽村森林組合で120℃以上の温度による竹の加圧蒸気乾燥を実施し、土木用材として試行する。 (2)熱処理試験:長野県林業総合センター木材部(技術協力)で220℃による真空加熱乾燥を行い、熱処理による含水率や収縮率の比較調査を行う。 ※南信州地域振興局林務課発行の広報誌で竹取再生の取組等を情報発信(3月発行予定)					
	事業期間	令和5年2月			～	令和5年3月	
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	高温乾燥処理	高温乾燥処理	253,440	見積書のとおり乾燥代			
	資材購入・運搬	高温乾燥処理材の購入と運搬	66,000	見積書のとおり加工・運搬一式			
	熱処理試験	林業総合センターへの運搬	0	高速代 座光寺～塩尻往復			
合計			319,440				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	土木資材としての試行に使う竹の本数		150本	161本	● 達成		
					○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	【実績】 ・高温乾燥処理を根羽村森林組合において実施し、竹材を土木資材として治山事業への提供が行えた。 ・熱処理を長野県林業総合センターへの技術協力依頼により実施し、高温乾燥処理材と併せて処理後の竹材の改質状況確認のため含水率試験を行った。 ・高温乾燥処理材については、土木資材として活用するために目標とした10%の含水率に対して5%前後となり、目標を達成することができた。熱処理材については炭化に近い状態となることが確認できた。						
	【成果】 ・高温乾燥処理については、土木資材として活用できる可能性があることを確認できた。 ・熱処理試験においては、高温により炭化に近い状態となったため、土木資材としては適さないことが確認できた。						
今後の方向性	・今回の高温乾燥処理は構造材(柱、梁材等)と同じ時間で行い目標を上回る含水率となったことから、今後は満足する含水率を得るためには乾燥時間をどのくらい短縮できるかを検討するための試験を継続することによって乾燥コストの低減を図り、安価で土木資材の提供が可能となるよう検討を進めて行く必要がある。						